

2026 水産海洋実践教育ネットワーク

4大学の水産実験所による水産海洋実践教育の推進

ーオールジャパンで日本の海を学ぶー

北海道大学



北方生物圏フィールド科学センター
白尻水産実験所・七飯淡水実験所・忍路臨海実験所

京都大学



フィールド科学教育研究センター
舞鶴水産実験所

広島大学



瀬戸内CN国際共同センター
ブルーイノベーション部門 水産実験所

長崎大学



環東シナ海環境資源研究センター

当ネットワークについて

本ネットワークは、北海道大学、京都大学、広島大学、長崎大学の水産実験所により設立されました。各地の水域特性を活かした実習を相互に実施し、日本の水産業と水圏環境を俯瞰的に理解できる人材の育成を目指しています。各実験所の研究フィールドと教育内容を活用し、学生が水産学・海洋学を体系的に学ぶ実践教育システムを共同で開発・実施しています。



連携プログラム

各大学の実習を組み合わせ、より高い学習効果を得られる連携プログラムを構築しています。

受講者には、各実習の受講証明書とは別に、水産海洋フィールド教育プログラム修了証を発行します。本修了証は、水産・海洋の知識・技術を主体的に習得したことを証明します。

対象は、連携プログラムの受講者、または所属大学以外で2大学以上の提供プログラムを受講した方です。

北海道大学
生理生態学実習



卵・精子を用いた
魚類の発生に関する実習

長崎大学
水産海洋環境学実習 I (B)



産卵親魚を用いて、配偶子
形成を理解するための実習

公開実習 プログラム

バイオロギング実習

(水圏フィールド環境・生物モニタリング実習)



開講期間：令和8年8月31日～9月4日
締切：令和8年7月10日必着

バイオロギング機器の取り扱い方法の習得や、水棲生物（主に魚類）へのデータロガーによる行動計測方法の取得、および行動データ解析について学びます。また、行動解析において必要となる環境情報の計測手法についても学びます。

生理生態学実習

(産卵期魚類を対象とした増殖実習)



開講期間：令和9年3月2～5日
締切：令和8年12月11日必着

北海道の代表的な水産魚種であるサケマス類の人工授精を行い、繁殖による生物生産の一端を学びます。また、生体へのホルモン投与実験や食の美学に関する体験実習も行います。

春季フィールド科学実習

(産卵期魚類を対象とした水産科学実習)



開講期間：令和9年3月8～12日
締切：令和8年12月11日必着

北海道沿岸では様々な生物が相互に作用して独自の海洋生態系を構成しています。本実習では、海藻やプランクトンといった海洋生物の採集・観察や、生態や生活史に関する講義等を通して海洋生物の多様性の実態を理解します。

北方水圏アラカルト実習

(産卵期魚類を対象とした総合フィールド科学実習)



開講期間：令和8年9月9日～17日
締切：令和8年7月10日必着

当拠点の全施設を2週間を巡る大型実習です。北海道を代表する海藻、プランクトン、無脊椎動物、魚類について、採集観察や体験的な学習を行います。当拠点の全の実習を一度に味わいたい方におすすめです。

海洋生物科学技術論と実習 I

(魚類学実習)



開講期間：令和8年8月21～26日
締切：令和8年6月26日

シュノーケリングによる魚類の生息場観察、仔稚魚調査、動物プランクトン調査など海洋生物調査の基本的な手法を習得し、沿岸の海洋環境と生物との対応関係を考察します。魚類の分類や解剖を行い、魚類学の基礎知識を習得します。

海洋生物科学技術論と実習 II

(無脊椎動物学実習)

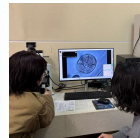


開講期間：令和8年8月26～31日
締切：令和8年6月26日

教育研究船緑丸に乗り、桁網（小型底曳き網）を用いて底生の魚類や無脊椎動物を採集し、生活環境の違いによる底生生物群集の変化を考察します。また、分子生物学的手法と形態学的手法による分類の結果の比較や、シュノーケリングにより岩礁域の生物の観察を行います。

海洋生物科学技術論と実習 IV

(仔稚魚学実習)



開講期間：令和9年3月8～12日
締切：令和9年1月15日

若狭湾沿岸で調査船に乗り、日本海の環境と生物の特徴を理解します。さらに、水産重要生物である魚類を対象として、目録鑑定（耳石観察）等を用い、水産学および海洋生物学に必要とされる基礎知識を習得します。

瀬戸内海の養殖水産物を学ぶ総合演習



開講期間：令和9年1月19～22日
締切：令和8年12月3日必着

瀬戸内海の海の幸であるカキとアサリを中心に、海産無脊椎動物や海藻の分類および生理生態の基礎について学習します。観察や実験に加え、栽培漁業センターや養殖場の見学、レトルト食品の製造実習を行い、瀬戸内海の水産物の養殖から加工までで理解を深めます。

海洋生態系における低次生産を学ぶ演習



開講期間：令和9年3月8～11日
締切：令和9年2月4日必着

瀬戸内海に生息するプランクトンや無脊椎動物・海藻類の種構成や生理・生態的特性を観察や分析により学びます。ドローンで収集した環境データ分析や、酸素濃度による海藻類の生理的応答の分析を行い、生物多様性の保全や生物資源の持続的利用のあり方への理解を深めます。

水産海洋環境学実習 III



開講期間：令和8年9月上旬
締切：令和8年7月下旬

船舶を利用して海洋観測、生物採集を行い、海洋生物を取り巻く海洋環境を理解するとともに、解析方法と原理を学習します。実習を通して東シナ海の海洋環境の理解と、水産増殖および海洋生物学に関する基礎知識を習得することを目的としています。

東シナ海学演習



開講期間：令和9年2月下旬
締切：令和9年1月下旬

東シナ海を総合的に捉えるための講義、漁獲物や資源の流通、資源管理・水産養殖・水産加工に関する実習を行います。東シナ海の生物・環境・水産海洋産業・人間との関わり・国際関係について学習し、東シナ海に関する文理融合的な基礎知識を身につけます。

水産海洋環境学実習 I



開講期間：令和9年3月上旬
締切：令和9年1月下旬

魚類増殖における種苗生産の基本的な知識と技術について、実験・実習方法を通じて学習します。魚類におけるメスの卵黄形成・成熟誘導、採卵方法、および卵質の評価方法についての実験を行い、魚類繁殖生理学ならびに魚類増殖技術に関する基礎を学びます。

水産海洋データ解析演習 I



開講期間：令和8年9月上旬
締切：令和8年7月下旬

データ処理ソフトウェア「R」の原理、操作技術を使い、統計解析・データ解析技術を習得します。本演習ではデータ分析・作図作業を中心に学習します。フィールドで得られたデータを用い、具体的な事象をあげながら講義を進めます。また、各自のデータの解析相談にも応じます。

水産海洋データ解析演習 II



開講期間：令和8年9月中旬
締切：令和8年7月下旬

データ処理ソフトウェア「R」の原理、操作技術を使い、統計解析・データ解析技術を習得します。本演習ではデータ分析・作図作業を中心に学習します。フィールドで得られたデータを用い、具体的な事象をあげながら講義を進めます。また、各自のデータの解析相談にも応じます。

本ポスターの内容は4月1日時点での情報です。
詳細は必ず各拠点のホームページ等でご確認ください。